

おくる心を大切に

人生の最後の乗り物は輿でした

我が国の伝統文化から

生まれた

輿付き乗用車

宮型霊柩車は

日本の葬儀式の象徴

貴方も輿に乗って黄泉の国へ!



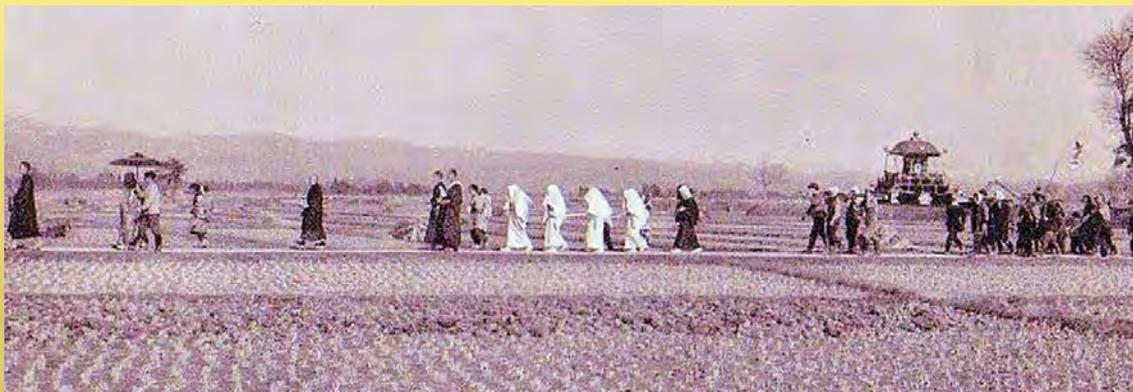
葬送文化と伝統を守りましょう



一般社団法人 全国霊柩自動車協会

電話 03-3357-7281 FAX 03-3357-7374 <http://www.09net.jp>

野辺の送り



昔の葬列(野辺の送り)は現在、交通事情や社会の変化により無くなってきました。しかし私たちは、日本の伝統文化である葬霊儀式の「御遺体を輿に入れて担いで送った」部分を現在の社会事情に沿った形で、輿付き自動車「宮型霊柩自動車」として現在も運行しています。

霊柩車の誕生

日本における霊柩車の誕生については、大阪・名古屋・金沢・東京など、それぞれの地区が最初だとの説がありますが、大正の初期(5年頃)に大阪で第1号車が作成されたというのが、現在では定説になっています。いずれにしてもこの時期に各地において霊柩車が走り始めたといつてよいでしょう。霊柩車の形状自体は、現在のものと基本的には変わりありませんが、当時の日本では量産型の自動車はなく、フォードやハドソンなどに屋根を着けたり彫刻を施したり、あるいは生花で飾り付けをするなどしていたようです。

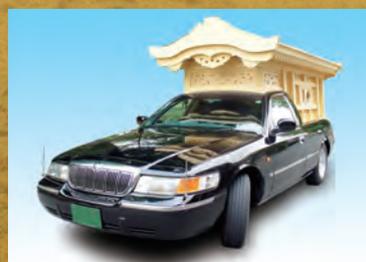
現在活躍中の主な宮型霊柩自動車たち



関東型



名古屋型



関西型



関東型宮型霊柩自動車の納棺室



金沢型

ご注意

現在日本全国で運行している宮型霊柩自動車たちです。一部の地域では自治体の条例によりこれら宮型霊柩自動車が入れない火葬場もあり、お施主様の希望車種のご利用にお応えできない場合があります。

宮型霊柩自動車に関するご相談は、
全国霊柩自動車協会まで
お願いいたします。

加盟店